

## 広島県中小企業団体中央会 2020年7月分情報連絡一覧表

※本調査は8月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する8月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

### ●食料品

#### 広島県東部菓子商工業協同組合

製造小売は持ち直してきた。量販店向けは好調である。回復の兆しは見えてきたが、上昇と呼ぶには勢いが足りない。コロナ禍の影響がどこまで続くのか、さらに第2波の感染流行も心配である。

#### 中国醤油醸造協同組合

7月の出荷量は前月比16.8%増加、前年同月比13.9%減少となり、売上高は前月比14.3%増加、前年同月比13.2%減少となった。

(繊維・同製品)

### ●繊維工業

#### 広島県輸出縫製品工業協同組合

コロナ禍で派遣等の求人がないため中途、新卒問わず求人への応募が増えている。

#### 広島県織物構造改善工業組合

コロナ禍で先行きの見通しが立たず不安が募る。県内でも新型コロナウイルス感染者が増加しつつあり、自粛ムードがさらに加速するのではないかと心配している。

### ●衣服・その他の繊維製品

#### 広島県アパレル工業組合

新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい。

(木材・木製品)

### ●木材・木製品

#### 福山木材協同組合

売上は前月比増加となったが、前年同月比では大幅な減少となった。先行きは引き続き不透明である。

#### ひろしま木材事業協同組合

長引いた梅雨や記録的な豪雨により、山での作業が一定期間出来なかったことや原木価格の低迷などを理由に、原木の出材量は前月比減少した。各森林組合も今後の展開を予想できないことから、出材を抑えている状態であり、市場での出展数量も減少している。

広島県内のプレカット工場では、7月後半から仕事が増え、残業を始めたところもあるが、新型コロナウイルスの第2波による影響が不透明なことから慎重に動向を見守る必要がある。

#### 広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和2年6月の全国の住宅着工戸数は71,101戸で前年同月比12.8%減少
- ・季節調整済年率換算値では790千戸(前月比2.1%減少)
- ・利用関係別では、持家は23,650戸で前年同月比16.7%減少、貸家は26,666戸で前年同月比13.0%減少
- ・分譲住宅は20,189戸で前年同月比7.7%減少
- ・木造住宅着工は41,218戸で前年同月比14.3%減少
- ・住宅着工動向は前年同月比12ヶ月連続で減少し、リーマン・ショック以来の低水準が続いており、今後の動向を注視していく必要がある。

<広島>

広島県内の6月の着工戸数は1,224戸で前年比45.6%減少、内訳としては持家は474戸で前年比13.7%減少、貸家は395戸で前年比50.6%減少、分譲は347戸で前年比59.7%減少と県全体の住宅着工動向は再び大幅減となった。緊急事態宣言解除から1カ月以上が経ち、ほぼ従来の日常生活が戻りつつあるものの、新築営業の空白期間の影響で需要減少が鮮明となりプレカットでも稼働が鈍る工場が増え、需要不振で県産材原木の引き合いも鈍く、輸出関連を中心に梱包、パレット等物流資材の需要低迷も長期化している。コロナ禍で地方の経済活動が萎縮し飲食や観光業ほどの落ち込みはないものの、先行き製品需要に明るさはなく様々な不安要素を訴える声も多い。

(印刷)

### ●出版・印刷・同関連

#### 広島県印刷工業組合

激動の世の中において、新しい価値や今までにない仕組みを模索する必要がある。ピンチはチャンスと言いつつも今できることを思案している。

(化学・ゴム)

### ●工業用ゴム製品

#### 中国ゴム工業協同組合

6月に緊急事態宣言が解除され、人の移動が多くなった結果今月から新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、一時は回復基調になった経済が再び足踏み状態になりつつある。

自動車の国内生産台数も前年比80～85%まで戻ってきたが、今後も85～90%程度で数年程度は推移するのではないかと見ている。また、ほとんどの企業が投資や採用を抑制しているのではないかとと思われるため、県内経済は当面厳しい状況が続くと思われる。

#### ●プラスチック製品製造業

##### 広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上、設備操業度ともに回復基調にあるが、業界全体では減少している。

各社資金繰りへの影響が懸念される。終息時期が見えないことが問題である。

(窯業・土石製品)

#### ●窯業・土石製品

##### 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

2年 7月 2,855m<sup>3</sup> (前年比10.25%減少)

2年 6月 2,923m<sup>3</sup>

R1年 7月 3,181m<sup>3</sup>

(鉄鋼・金属製品)

#### ●鉄鋼業

##### 瀬鉄鋼協同組合連合会

当会から送電している全事業場の電気使用量は前年比10～20%減少している。

(一般機器)

#### ●一般機械器具

##### 出島工業会協同組合

売上については、一時期に比べて若干戻った印象はあるが、依然として先行きは不透明である。

##### 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、締め切り日の関係により前月比35%増加したが、前年同月比は30%減少となった。コロナ禍の長期化に伴う国内外の景気減速の影響は依然続いている。設備操業度は前年比、前月比とも悪化し、厳しい受注状況を反映している。収益状況は前月比でやや持ち直しているものの、前年比では依然悪化している。

(電気機器)

#### ●電気機械器具

##### 広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

先月同様、新型コロナウイルスの影響で、国内外ともに受注が減少しており、前月比5%減少、前年同月比15%減少となった。設備投資減少の影響は大きく、また先行き不透明感も強い。行政の新型コロナウイルス対策に対する不満が事業者から感じとれる。

(輸送用機器)

#### ●輸送用機械器具 (自動車)

##### 東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客 (マツダ) の業況 (生産台数) に比例している。

・7月の国内自動車販売台数は全需が396千台、前年同月比13.7%減少と10ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比20.4%減少と10ヶ月連続の前年割れ、軽自動車も前年同月比で1.1%減少と10ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同21.2%減少と4ヶ月連続の前年割れ

・アメリカの6月の全需は1,111千台で前年同月比26.4%減少と4ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同10.9%増加と4ヶ月振りの前年超え

・欧州の6月の全需は1,309千台で、前年同月比21.6%減少と6ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同38.8%減少と6ヶ月連続の前年割れ

・中国の6月の全需は1,980千台で、前年同月比3.8%減少。マツダ車は同7.3%増加と3ヶ月連続の前年超え

・上記各地域の状況下、マツダ車の6月の海外販売合計台数は98千台、前年同月比9.4%減少で6ヶ月連続の前年割れ

・マツダの6月の輸出台数は前年比55.2%減少と9ヶ月連続の前年割れ

・マツダの6月の国内生産台数は、前年同月比59.4%減少と9ヶ月連続の前年割れ

#### ●輸送用機械器具 (造船)

##### 因島鉄工業団地協同組合

下期より新型コロナウイルスの影響で各造船所の営業が出来ず、今まで外注していた工事を内製化するため現工事のペースダウンが予想される。その結果、我々組合員への外注量は2～3割減少となり、売上が大幅に減少していくことが予想される。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

## 中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和2年6月の船舶建造許可実績は8隻237,290総トンであった。(前月3隻191,800総トン、前年同月3隻114,900総トン)

なお、内訳は国内船が2隻で全てが貨物船、輸出船6隻で貨物船が5隻、油槽船が1隻であった。

(その他)

### ●家具・装備品

#### 府中家具工業協同組合

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、売上の減少や景況悪化が続いている。

(卸売業)

### ●卸売業(総合)

#### 協同組合福山卸センター

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収益状況、景況感は悪化している。

#### 協同組合広島総合卸センター

先月に比べて全体としては景況感に変化はない。新型コロナウイルスの影響がどこまで出るのかは、現時点では引き続き不透明である。

「雑貨」においては、生活用品関連取扱業者は改善、観光関連業者は厳しい状況が続いている。紙関連は広告、紙袋等が減少しており厳しい。医療関連は大きな落ち込みはない。

「資材」においては、昨年度までの受注分で大きな落ち込みは現在までなかったが、今後は販売先の設備投資抑制等から見通しは厳しい。

「食品」においては、スーパー向けの日配品、生鮮品は前年並み。土産品向けは引き続き厳しい。販売先によって濃淡がある。

「繊維」においては、催事・商談が再開などの兆しはあったが、感染拡大で不透明感が増している。

5月を底に改善の兆しはあるものの、前年同月比では厳しい状況である。新たな借入で資金繰りを確保しているが、年度後半に前年同期並みに改善できないと厳しい状況に再度陥る懸念がある。

### ●卸売業(電設資材)

#### 広島県電設資材卸業協同組合

コロナ禍の影響で、住宅・非住宅関連商材が減少している。特に非住宅の飲食店、物販店舗は大幅減となっている。

### ●卸売業(家具)

#### リビズ株式会社

特別定額給付金や在宅ワークの増加を背景に好調である。しかし、徐々に売上は落ち着いてきている。

### ●卸売業(畳・敷物)

#### 広島県藁製品商業協同組合

い草の主産地である九州熊本地方では、株張もよく、粒も揃った良質のい草が収穫できている。既に6月下旬にはほぼ収穫を終え、製織は盆過ぎから本格化するものと見ている。「びんごい草」は天候にも恵まれ生育は良好、「長い」の割合も良く製織は9月に入り受注に合わせて生産していくものと見ている。本格的な新草の流通は9月からの見込みである。

一方、中国産表では、現状の相場は横並びの状態である。新草は既に刈り取りを終えているが、受注の動きが鈍く専ら古物のい草を製織し、在庫をはかしている状況である。コロナ禍で需給バランスが崩れているため、需要動向を見ながらの生産、輸出を進めている。

(小売業)

### ●各種商品小売業

#### 協同組合三次ショッピングセンター

新型コロナウイルス感染者数が再び増加し、今後も客足は遠のき売上が上がる見込みはない。

#### 広島生鮮三品連絡協議会

中央市場水産部の取扱高は前年比90%程度まで回復したが、7月下旬からコロナ陽性者の再拡大が始まり、再び飲食業で営業自粛の流れが懸念され、今後の業績回復への見通しが不透明となっている。

中央市場青果部の取扱高は、大手量販店が前月に引き続き好調であること、日照不足から相場が上がってきたことから、前年比10%増加となった。

3密対策の意識が消費者に定着しつつあるため、来店客数が低下傾向にある店舗が多いものの、まとめ買いで客単価は増えている。

大手量販店は独自にポイント制度を継続し、一部商品の価格を下げるなど、まとめ買いを助長した動きが見られ、小売業界内に格差が大きくなりつつある。

コロナ禍の長期化が懸念され、消費者の節約志向が広がる傾向にあり、大手量販店・小売店の売上は鈍化傾向が見られ始めている。大手量販店の売上が伸びているが、一時的なものである。

### ●家庭用電気機械器具小売

#### 広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比5.3%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比1.8%増加、冷蔵庫

同6.6%減少、洗濯機同1.4%増加、IHクッキングヒーター同1.7%減少、電気温水器同2.1%減少、エアコン同9.5%増加となった。

薄型テレビは50型以上の大画面が好調だが、ほかの映像、音響商品は20～30%減少となった。コロナ禍での外出控えにより、薄型テレビ、空気清浄機などが好調に推移している。今月は、冷蔵庫、洗濯機、エアコンが安定して売れている。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

元来減少傾向にあった石油製品であるが、新型コロナウイルスの影響により販売量の回復は期待出来ない。

梅雨明けの猛暑続きで販売現場はマスクをつけての接客に苦慮している。資金繰りについては政府の支援策により一息ついている状況と推測されるが、差別化しにくい製品であるため価格競争に陥りやすく、利益確保が難しい状況に変わりはない。

（商店街）

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 呉本通商店街振興組合

7月末に呉市内で6名（通算7名）の新型コロナウイルス感染患者が発生し当地区で今後予定されていた11月の食の祭典などのイベント中止が相次ぎ、当組合青年部が企画していた夏の土曜夜市に変わるイベントも中止せざるを得なくなっている。組合員においては国や地方自治体の給付金や緊急支援融資などの支援策が周知されつつあり申請件数も増加傾向にある。しかし、新型コロナウイルス感染が再び拡大しつつあり今後売上の更なる減少や景気低迷の長期化が懸念される。

（サービス業）

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比11.5%減少、前年比15.7%減少

車検場収入は、前月比10.2%減少、前年比13.9%減少

重量税・登録印紙の売上は、前月比5.1%減少、前年比22.5%減少

#### ●広告業

##### 広島県広告美術協同組合連合会

先月に比べて若干ではあるが、稼働してきている。ただし、大型案件や各種イベント等は依然として縮小傾向である。今後の見通しは立たない状況である。

#### ●警備業

##### 広島県警備業協同組合

新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始めている。

#### 情報サービス

（一社）広島県情報産業協会

出張制限等自主規制による活動自粛の影響が今後またどの程度出てくるか不安はある。

（建設業）

#### ●工事業

##### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、7月度は前月比44.6%増加、前年同月比32.0%増加、累計前年比11.5%増加となった。緊急事態宣言解除後の現場の動きは回復傾向にある。

コロナ禍が月半ばから第2波が近づいており、8月以降も再び予断を許さない状況になってきた。

##### 福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比3.1%減少、前年比26.3%減少となった。新型コロナウイルスの影響もあり、来月以降も受注件数を注視していく。

現状では未だ新型コロナウイルスの影響を受ける前に受注した工事があるが、今の状況が続くと9月には受注予定がなくなる。秋口から厳しくなるのではないかと予想している。

（運輸業）

#### ●道路貨物運送業

##### 中国カーゴ軽運送協同組合

前月比売上は増加したが、収益状況、景況感は厳しい状況である。

##### 松永地区トラック事業協同組合

7月の売上高は前月比増加、前年同月比減少となった。収益状況は前月比若干増加し好転に向かいつつあるが、前年同月比では激減した。

5、6月は関東、中部、関西方面からの返路貨物が激減し、空車回送を余儀なくされていたが、その頃と比較すると貨物も動き出してきたようである。

しかし、再び新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、緊急事態宣言が再度発令されるようなことになれば物流がどうなっていくのか、不安を抱えている。

## 広島輸送ターミナル協同組合

自動車関連が60%程度まで回復し、学校や建設現場の再開に伴い物流量も回復傾向にある。

長距離輸送は大幅に減少し、車両の稼働も戻っておらず運賃は低下している。Go TOキャンペーン以降、新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり8月の繁忙期を前に感染者の増加と物流量の減少を心配している。

## 水運業

### 全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない

(その他)

## ●不動産業

### 広島県不動産評価システム協同組合

前月比は特に変化はない。前年同月比では資金繰りは好転しているが、その他は不変である。

8月は引き続き固定資産税標準宅地評価の時点修正作業等があるが、コロナ禍の影響により、先行きは不透明である。